

地下水調査の結果について (令和2年11月)

令和2年11月に行った地下水調査の結果、全ての観測井戸において、地下水の水質汚濁に係る環境基準値を満足していました。

供用開始後の地下水調査の結果

単位：mg/l

項目	試料 (採水日)	ホーリング No. 1	ホーリング No. 2	ホーリング No. 3	定量下限値	基準値
		11/9	11/9	11/9		
pH		5.9	6.9	5.1	—	—
電気伝導率		47.0	29.6	18.8	0.1	—
浮遊物質		不検出 (<1)	不検出 (<1)	不検出 (<1)	1	—
総水銀		不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	0.0005以下
アルキル水銀		不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	検出されないこと。
カルシウムイオン		66	48	8.4	0.1	—
ナトリウムイオン		27	17	23	0.1	—
カリウムイオン		0.7	4.7	1.6	0.1	—
マグネシウムイオン		12	8.6	1.7	0.1	—
硫酸イオン		39	20	0.9	0.1	—
硝酸イオン		16	6.8	0.5	0.1	—
炭酸水素イオン		140	160	21	0.5	—
塩化物イオン		63	23	46	0.1	—

(注) ・不検出とは、定量下限を下回っていることを示します。

・分析は、「土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第2版）」の「Appendix-7地下水の採水方法」に従い採水した試料を用いて分析した。